

# 弘前大学学報



平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式

第 102 号  
平成24年 9月号

**学内ニュース**

○平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式を举行	-----	1
○平成24年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式告辞		
	弘前大学長 佐藤 敬	2
○緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」を開催	-----	3
○「第6回学生相談を考える会」を開催	-----	4
○平成24年度前期「弘前大学高大連携公開講座」修了証書授与式を举行	-----	5
○「科目ナンバリング説明会」を開催しました	-----	6
○延辺大学の金連姫副教授が来学	-----	7
○「入試改善のための講演会」を開催しました	-----	8
○学生アンバサダーによる報告会を開催しました	-----	9
○平成24年度 第2回 弘前大学科研費説明会 及び実務担当者向け勉強会を開催	-----	10
○日本放射線看護学会設立、第1回学術集会を弘前大学で開催	-----	11
○第4回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を開催	-----	12

<b>諸 会 議</b>	-----	13
--------------	-------	----

**人 事**

○新任教授紹介	-----	15
○人事異動	-----	15

<b>主要日誌</b>	-----	17
-------------	-------	----

<b>学内規則等の制定等</b>	-----	18
------------------	-------	----

## 平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式を挙

平成24年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式が9月28日（金）、事務局3階大会議室において行われ、34名に学位記が授与されました。

平成24年度秋季の学位記授与者内訳は、次のとおりです。

### ○学士学位記授与者

人文学部	10名
教育学部	5名
医学部保健学科	2名
理工学部	2名
農学生命科学部	2名

### ○修士学位記授与者

教育学研究科	1名
保健学研究科（博士前期課程）	1名
理工学研究科（博士前期課程）	3名
農学生命科学研究科	2名

### ○博士学位記授与者

医学研究科	6名
-------	----

合 計

34名



佐藤学長より学位記を授与される卒業生、修了生

---

## 平成24年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式 告 辞

ようやくさわやかな秋の気配が感じられるようになった今日、ここ弘前大学事務局大会議室において、平成二十四年度秋季学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは私にとって大きな喜びとするところであります。

まずもって、本日、学位を取得された皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、おめでとうございませ



す。

この秋季学位記授与式は、春の式に比べると出席者も少なく、華やかさには欠けるかもしれません。しかし、本日皆さんに授与される学位記の価値と意味にはいささかも変わるところはありません。また、私自身をはじめ、弘前大学教職員はもちろんのこと、社会全体の皆さんに対するお祝いと称賛の気持ちもまったく同じです。まずは、皆さん自身もそのことを忘れないでいただきたいと思います。

今皆さんは、弘前大学における学生生活の日々を思い出していることと思います。最近の調査において、日本の大学生の勉強時間が外国の大学生に比べて少ないとの調査結果が報告され、新聞などでも報道されていますが、弘前大学における皆さんの学生生活は、学問の観点から見ても間違いなく充実したものであったと、私は信じています。大学における学問の在り方は一様ではなく、机に向かうことだけが学問の姿でないことは明らかです。したがって、皆さんは、自分自身のこれまでの勉学と学生生活全体に大きな自信を持って、今後の人生に臨んでいただきたいと思います。大切なのは、それを今後にどう生かすかであり、万が一、やり残したと思うことがあったとしても、それを今後の努力の糧にしていくことが重要です。今後、皆さんがいかなる人生を歩もうとも、これまでよりもっと長い学びの時間が皆さんを待っていることを忘れないでいただきたいと思います。そのために、弘前大学で学んだことが役にたたないことなど、決してありえません。

もちろん、これからの学問は、これまでの学問の在り方とは異なる場合が多いかもしれません。これまで経験して来なかったことが求められる場面にも数多く直面することと思いますが、それこそが、皆さんにとっての新たな学びの機会であり、自らを育む大きなチャンスでもあるのです。そして間違いなく、学生生活の中にも、そのような機会はたくさんあったはずで

す。その経験を生かして、さらなる挑戦を果敢に果たしていただくよう願っています。本日授与された学位記は、皆さんのこれまでの努力を評価し称えるものであると同時に、今後、皆さんが社会のリーダーとしての気概を持って活躍して下さることを心から期待するものでもあります。皆さんが、社会のリーダーとして我が国の発展のけん引力となることをもって、弘前大学の社会的使命も果たされるものと考えます。

多くの皆さんは、このキャンパスを離れることになるかと推測しますが、歴史と文化の香り高いこの弘前の地で、多くの学友と過ごした青春の一時期が、輝かしい思い出として皆さんの心にいつまでもとどまるものと信じています。今後、皆さんがどこでどのような道を歩もうとも、弘前大学で学んだことを誇りとし、そして時には弘前大学のことを思い起こし、声援を送って下さるようお願いしたいと思います。

終わりに、皆さんは、今日までの長い年月にわたって学び続けることのできた幸福を忘れることなく、皆さんのご家族や弘前大学教職員、そして社会全体に対する感謝を今一度思い出して下さい。そしてなにより、本日、学位を取得された皆さんの、今後のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成24年9月28日

弘前大学長 佐藤 敬

## 緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」を開催

本学大学院保健学研究科では、全国の医療施設に勤務する看護職者及び診療放射線技師を対象とした、緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」を開催しました。

同研究科では、多くの原子力関連事業所が集中している青森県における被ばく事故に対する安全、安心の確保、原子力関連企業従事者の医療リスク管理システムの構築及び被ばく医療に対応できるコア・メディカルスタッフの養成を目指し、平成19年度から緊急被ばく医療人材育成の取組みを開始。平成20年度からは文部科学省特別経費プロジェクトとして「緊急被ばく医療人材育成及び体制の整備」を実施しています。

現職者研修は、緊急被ばく医療に必要な知識を習得、連携・協働しながら、適切な対応かつ安全管理ができる医療職者を育成することを目的とし、平成22年度から開催しているもので、3回目の開催となる今年度は、看護職コースと診療放射線技師コースを8月18日、9月1日、2日の3日間の日程で開催し、現職の看護職者、診療放射線技師ら合わせて21名が受講しました。

1日目、2日目は、緊急被ばく医療の原則やサーベイメータの取り扱い等について、福島第一原子力発電所事故直後に派遣した本学被ばく状況調査チームやその他の教職員が実際に現地で行った活動内容を盛り込んだ講義、演習が行われました。

また、3日目に実施した緊急被ばくシミュレーション演習では、同研究科基礎・成人看護学実習室内に管理区域を設定し、原子力発電所の原子炉建屋内で発生したパイプ亀裂の修復作業に当たっていた2名の作業員の体調が悪くなり転倒、下腿部を挫傷し汚染の可能性があるという想定で、汚染を伴う傷病者の搬入から一般病室への退室までの一連の流れについて実践しました。受講生らは処置室の汚染管理を行うとともに、防護服を着用し、処置室の線量測定や創傷汚染の除染、創傷処置など一連の作業に取り組み、緊急被ばく医療への対応について学びました。



緊急被ばく医療シミュレーション演習



サーベイメータ取り扱い演習

## 「第6回学生相談を考える会」を開催

9月5日（水）、創立50周年記念会館「岩木ホール」において、学生相談に携わる学内外の教職員を対象にした「第6回学生相談を考える会」を開催しました。約50人が参加し、メンタルヘルスに深刻な問題を抱える学生に接することとなった場合の対応方法等を探りました。

同会は多様化・複雑化する学生相談に適切に対応し、学生の支援体制を充実させようと平成20年度から開催しており、今回で6回目の開催となります。前回と同様、近隣の他大学とも連携・情報交換していこうと呼び掛け、青森県営農高等学校、北里大学獣医学部など3校から3人の参加がありました。

本考える会では、田中弘前大学医学部附属病院助教からの自殺予防に関する情報提供の後、その内容に基づいて参加者とのディスカッションを行いました。ディスカッションにおいては、メンタルヘルスの専門家でない教職員がどこまで踏み込んで学生に接していけばよいのか、といったことや、教員が学生のストレス要因となっているケースではどう対応すればよいかなどについて、意見の交換を行いました。



意見交換を行う参加者

---

## 平成24年度前期「弘前大学高大連携公開講座」修了証書授与式を挙

本学では、平成24年度前期「高大連携公開講座修了証書授与式」を9月21日（金）に総合教育棟の共用会議室で実施しました。

今回の授与者は、青森県立弘前高等学校から3名、青森県立弘前工業高等学校から3名、弘前学院聖愛高等学校から1名の計7名で、授与式には、中根教育担当理事及び当該高等学校長等が出席し、中根理事から一人ひとりに修了証書が手渡されました。

これを受けて、受講生を代表して青森県立弘前高等学校2年の小山内大雅さんから挨拶があり、続いて高等学校を代表して弘前高等学校教頭から謝辞が述べられ、授与式は終了しました。

授与式終了後には、中根理事と受講生との懇談会が行われ、受講者からは高等学校の授業と大学の講義との違いについて感想が述べられるなど、終始和やかな雰囲気での歓談となりました。



中根理事から修了証書を授与される受講者



受講者と中根理事による懇談会

---

## 「科目ナンバリング説明会」を開催しました

9月21日（金）、総合教育棟1階共用会議室において教育推進室主催による「科目ナンバリング説明会」を開催しました。

教育推進室では、中央教育審議会から8月28日に出された答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」等への対応の一環として科目ナンバリング制度の導入を検討しており、この制度について本学教職員の理解を深めることを目的として、国際基督教大学から講師を招いて開催しました。

開催にあたっては、7月に設置された教育推進機構会議の委員の方々、また学部・研究科の事務職員等にも説明会開催の案内を行い、当日は約40人の参加がありました。

説明会では、同大学の講師からナンバリングの設定方法、運用方法などについて説明があり、その後の質疑応答では本学教職員から、科目の難易度設定の方法等について質問が出され活発な意見交換を行いました。



講演する国際基督教大学の講師



冒頭挨拶する中根理事

## 延辺大学の金連姫副教授が来学

本学の姉妹校である延辺大学から、金連姫副教授（外国語学部日本語科）が、大学間交流協定に基づく7人目の招へい研究者として、9月25日（火）から4週間の日程で来学されました。

本学と延辺大学とは、平成12年に哈爾濱師範大学に続く中国2つめの姉妹校として大学間交流協定を締結しています。このたびの金副教授の来学は、平成21年度から毎年行われている教員交流プログラムによるものです。このプログラムは、両大学の創立60周年を機に両大学の学長の協議により始められました。延辺大学と弘前大学は、長白山と世界自然遺産の白神山地という共通する研究分野を有しており、また延辺大学には「日本学研究所」があり、日本語研究が盛んに行われており、これまで多くの日本語及び日本文化研究者が学術研究交流のために弘前大学を訪れています。今年度は、教育学部が受入れ部局となり、日本語及び日本文化の研究交流が行われています。

金副教授は、9月26日（水）午前には伊藤教育学部長を表敬訪問、午後には大西国際交流センター長を表敬訪問し、国際交流センター、イングリッシュラウンジを視察、その後、佐藤学長、神田副学長を表敬訪問されました。学長との話の中で金副教授は、学生交流をしている大学は多々あるが、教員を相互に派遣するという形での学術研究交流をしている大学は延辺大学にとって弘前大学が初めてであり、延辺大学は非常に感謝していると述べられました。また、「初めて日本を訪れるので見るもの聞くものすべてが研究材料。4週間の中でより多くの経験をして帰国後の教育に活かしたい。」と今回訪問の抱負を述べられました。



佐藤学長、神田理事表敬訪問



佐藤学長、神田理事表敬訪問記念撮影



伊藤教育学部長表敬訪問



大西国際交流センター長表敬訪問

---

## 「入試改善のための講演会」を開催しました

9月27日（木）、株式会社進研アドから講師を招き、「入試改善のための講演会」を開催しました。この講演会は今年で5回目の開催となり、佐藤学長、中根教育担当理事、各学部長や入試担当教職員など約20名が参加しました。講演会では、平成24年度入試における学部別の志願者の傾向や、18才人口の減少に伴う今後の動向に関する詳細な分析結果が紹介され、志願者獲得のための戦略などについて参加者との活発な意見交換が行われました。



講演会の様子

## 学生アンバサダーによる報告会を開催しました

9月28日（金）、出身高校で弘前大学のPRを行った学生アンバサダー（学生大使）が報告会を行いました。

始めに、中根教育担当理事から「入試広報の中で、アンバサダーの役割が重要だと言われていきます。卒業した先輩が出身高校に行って後輩に対し弘前大学のことを話してもらうということは、進路選択の中で弘前大学を選択してもらうという効果が期待されます。アンバサダーの皆さんの報告を楽しみにしています」と挨拶がありました。

そして、今年度学生アンバサダーとしてPRを行った13名の学生から報告がありました。

報告では、「写真などを多く資料に使用し、弘前大学及び弘前という街の魅力をアピールしたこと」、「弘前大学・各学部・研究室等の様子を分かりやすいように紹介したこと」、「自身の高校時代のことを話したこと」など、各アンバサダーがそれぞれ趣向を凝らして弘前大学をPRした様子を伺うことが出来ました。

また、このアンバサダーを経験した学生からは、「卒業してから出身校に行く機会がなく、今回のアンバサダーによりお世話になった高校の先生方にお礼が出来た。大学生になってからの何年間で変わった自分を伝えられて良かった。」といった声もあり、学生自身にとっても学生アンバサダーが非常に有意義なものであったことが感じられた報告会となりました。



報告会の様子

## 第2回 弘前大学科研費説明会及び実務担当者向け勉強会を開催

科研費制度の理解を深め、本学における研究活動のより一層の推進及び充実並びに採択率アップを目的として、9月27日に科研費説明会が本学文京町キャンパスと本町キャンパスの2会場で、また、10月5日に実務担当者向け勉強会が弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大で行われました。

本学における科研費の採択率は、全国水準で見ると依然として低く採択率アップが急務の課題となっており、そこで本年度2回目となる説明会では、複数の科研費が採択されている教員を講師として、科研費採択のヒント・ノウハウについて講演していただきました。

文京町キャンパスでは農学生命科学部 橋本 勝 教授が、本町キャンパスでは医学研究科 中路重之教授及び大山 力 教授が、それぞれの経験をもとに科研費申請のポイントについてわかりやすく講演し、続く本学学術情報部研究推進課からは平成25年度公募について、本学財務部財務企画課からは科研費の不正使用等について説明がありました。

当日は、「学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム」を構成する大学（東北女子大学、弘前学院大学、東北女子短期大学、弘前医療福祉大学）の教員、（地独）青森県産業技術センター弘前地域研究所の研究者らの参加があり、参加者が240名を越す大変盛況な説明会となりました。

また、実務担当者向け勉強会では、参加した各部局の担当者らが研究計画調書の点検・改善のポイントを研究申請書作成支援者養成トレーニングプログラムのセミナーライブDVDを観ながら学習しました。参加者らは熱心にメモをとる等、今後の科研費採択率の向上を窺わせる大変有意義な勉強会となりました。



説明会にて熱心に聴き入る聴衆



講演する橋本教授



DVDを真剣に見入る参加者

## 日本放射線看護学会設立、第1回学術集会を弘前大学で開催

このたび本学、長崎大学、鹿児島大学の教員が中心となり、放射線看護の発展を図り、専門的な活動の質向上に寄与することを目的として、日本放射線看護学会が設立され、9月29日（土）、本学創立50周年記念会館で第1回学術集会を開催しました。

看護師と放射線との関わりは、自らも被ばくしながら被災者をケアした広島及び長崎の看護師に始まります。その後は放射線の医学利用の増大とともに、放射線看護は診療の場を主な舞台に発展してきました。その一方で、東海村JCO臨界事故や東京電力福島第一原子力発電所事故を経験し、放射線看護の枠組みを地域の人々や産業現場の人々、そして被ばく患者のケアをも実践できる、さらに高度なものへと拡大・変革することが急務となってきました。

学術集会は、「放射線看護の高度化・専門化を目指して」をメインテーマとして、平成20年度より「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」を展開している本学大学院保健学研究科が共催し、全国各地の看護師、保健師ら約250名が参加しました。

冒頭、学術集会の会長を務める本学大学院保健学研究科の西沢義子教授が、学会設立の経緯を交えながらあいさつを行ったのにつき、学会設立を記念して、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・長野県看護大学名誉教授の小西恵美子理事長が講演しました。

その後のシンポジウムでは、鹿児島大学医学部保健学科の松成裕子教授を座長として、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の浦田秀子教授、本学大学院保健学研究科の齋藤陽子教授、福島県立医科大学附属病院の中嶋由美子副院長兼看護部長が、それぞれ教育、医師、現場の立場から発表を行いました。一般演題は14題あり、活発な意見交換が行われ、放射線看護専門看護師の誕生に向けた今後の取り組みや専門性を明らかにするための方向性が得られる機会となりました。

学術集会終了後には、翌日に開催される「第4回緊急被ばく医療国際シンポジウム」と、相互の交流の機会となるよう合同懇親会が行われました。学術集会関係者と国際シンポジウム関係者が放射線看護の高度化・専門化に向けて情報交換を行い、親交を深めました。



小西恵美子理事長の記念講演



シンポジウムの様子



全国各地からの参加者



関係者の記念撮影

## 第4回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を開催

本学大学院保健学研究科では、「これからの緊急被ばく医療人材育成のあり方」をテーマに第4回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を9月30日（日）、弘前大学創立50周年記念会館で開催しました。

同研究科では平成19年度から緊急被ばく医療人材育成の取組みを開始。平成20年度からは緊急被ばく医療のバックアップ体制を編成し、線量計測や特殊臨床検査等の人材育成とシミュレーション等による教育訓練を通して、緊急被ばく医療の基盤となる体制の整備を図るため「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」を展開しています。

プロジェクトの最終年度にあたり、第4回目となる今回のシンポジウムは、弘前大学被ばく医療総合研究所及び日本放射線看護学会、文部科学省科学技術戦略推進費「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」と共催し、独立行政法人放射線医学総合研究所の後援により開催したもので、関係機関から約70名が出席しました。

第1部では同研究科の教員が、それぞれの立場でプロジェクトを振り返り、弘前大学における緊急被ばく医療人材育成活動を紹介しました。海外からは世界保健機関（WHO）やフランス国防軍放射線防護センターから2名が参加し、所属機関の緊急被ばく医療の取り組みについて講演しました。

また、同研究科で実施している「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」の研究成果を含む17件のポスター発表も行われ、参加者らは活発な質疑応答を行い、緊急被ばく医療への国際的知見を深めました。

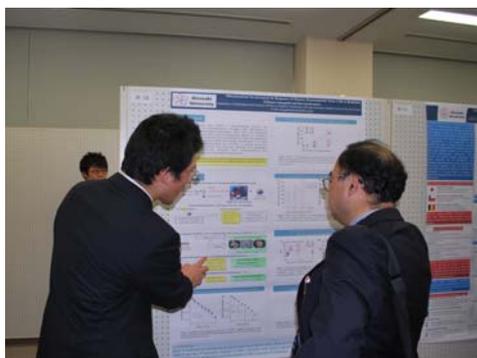
シンポジウム開催前日の9月29日（土）には、同会場で第1回日本放射線看護学会学術集会が開催され、相互の交流の機会となるよう合同懇親会が行われました。本学医学部保健学科の学生による津軽三味線が演奏され、シンポジストら関係者と同研究科の教員、学術集会関係者が今後の連携推進に向けて情報交換を行い、親交を深めました。



活発な議論が行われたシンポジウム



シンポジストとの記念撮影



ポスターセッション



合同懇親会で津軽三味線サークルの学生と記念撮影

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

9月3日（月）

#### 審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について
  - (1) 弘前大学学位規則の一部改正について
  - (2) 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について
  - (3) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正について
  - (4) 弘前大学保健管理センター規程の一部改正について
  - (5) 国立大学法人弘前大学における組織評価に関する規程の一部改正等について
- 2 弘前大学ボランティアセンターの設置について
- 3 食料科学研究所（仮称）について
- 4 平成25年度 科研費申請の基本方針について
- 5 平成25年度 競争的資金申請の基本方針について

#### 報告事項

- 1 第2期中期目標期間の教育研究評価について
- 2 タイ拠点（事務所）設置に関する協議結果について
- 3 平成24年度協定校研究者交流について
- 4 オープンキャンパスの実施結果について
- 5 研究活動推進のための提言（第1次）について
- 6 平成24年度 弘前大学機関研究の選考結果について
- 7 平成24年度 弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
- 8 平成25年度 弘前大学国際シンポジウム助成事業の選考結果について
- 9 平成24年度 北東北国立3大学連携推進研究プロジェクトの決定について
- 10 情報共有サーバシステム導入について
- 11 学長説明会の開催について
- 12 献血表彰について

9月24日（月）

#### 審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について
  - (1) 弘前大学学位規則の一部改正について
  - (2) 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について
  - (3) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正について
  - (4) 弘前大学保健管理センター規程の一部改正について
  - (5) 国立大学法人弘前大学における組織評価に関する規程の一部改正等について
- 2 弘前大学ボランティアセンターの設置について

#### 報告事項

- 1 「環境報告書2012」について
- 2 「弘前大学ボランティアセンター」看板上掲式について

### ▼教育研究評議会

9月11日（火）

#### 審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について
  - (1) 弘前大学学位規則の一部改正について
  - (2) 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について
  - (3) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正について
  - (4) 弘前大学保健管理センター規程の一部改正について
  - (5) 国立大学法人弘前大学における組織評価に関する規程の一部改正について

- 
- 2 弘前大学ボランティアセンターの設置について
- 報告事項
- 1 教員の人事について  
(1) 教員の採用・昇任
  - 2 海外拠点の設置について
  - 3 平成24年度協定校研究者交流について
  - 4 GPAの提供について
  - 5 大学院共通科目「エネルギーと環境」について
  - 6 オープンキャンパスの実施結果について
  - 7 研究活動推進のための提言（第1次）について
  - 8 平成24年度弘前大学機関研究の選考結果について
  - 9 平成24年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
  - 10 平成25年度弘前大学国際シンポジウム助成事業の選考結果について
  - 11 平成24年度北東北国立3大学連携推進研究プロジェクトの決定について
  - 12 情報共有サーバシステム導入について
  - 13 平成24年度電子ジャーナルの利用アンケート集計結果について
  - 14 委員会等報告  
(1) 21世紀教育センター運営委員会  
(2) 教育委員会  
(3) 研究委員会

▼教育委員会

9月25日（火）

審議事項

- 1 平成24年度FD活動について
- 2 平成24年度後期学期途中の「学生による授業評価アンケート」について
- 3 弘前大学学生表彰実施要項の改正について

報告事項

- 1 平成24年度前期「学生による授業評価アンケート」実施結果について
- 2 平成24年度後期「弘前大学高大連携公開講座」受講者について
- 3 平成24年度後期「弘前学院大学との単位互換」特別聴講学生について
- 4 学生相談を考える会について
- 5 平成24年度後期授業料の延納・分納について
- 6 平成24年度日本学生支援機構奨学生の追加推薦状況について
- 7 体育・スポーツ施設担当教員連絡協議会報告について

▼研究委員会

9月25日（火）

報告事項

- 1 研究活動推進のための提言（第1次）について
  - 2 平成24年度弘前大学機関研究の選考結果について
  - 3 平成24年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
  - 4 平成25年度弘前大学国際シンポジウム助成事業の選考結果について
  - 5 平成24年度北東北国立3大学連携推進研究プロジェクトの決定について
  - 6 平成24年度弘前大学学術特別賞の公募結果について
  - 7 平成24年度第2回弘前大学科研費説明会の開催について
  - 8 地域共同研究センター運営委員会の報告について
  - 9 機器分析センター運営委員会の報告について
-

## 新任教授紹介

【平成24年9月1日発令】



保健学研究科

樋口 毅

昇任

前職:医学部附属病院准教授

## 人事異動

【採用】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年9月1日		山本 稔	准教授(教育)
平成24年9月1日		坪井 堅太郎	助手(医) [29.08.31まで]

【任用更新】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年9月1日		浅野 義哉	助教(医) [29.08.31まで]
平成24年9月21日		尾張 至伸	教諭(教育・附中) [24.09.26まで]
平成24年9月27日		尾張 至伸	教諭(教育・附中) [26.03.31まで]
平成24年9月28日		天野 優美	教諭(教育・附特) [26.03.31まで]

【昇任】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年9月1日		樋口 毅	教授(保)

【休職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年9月6日	看護師(病院・看護)	関 照 美	休職開始 [24.11.31まで]
平成24年9月18日	一般職員(総務・人事)	福 士 雅 之	休職開始 [24.10.31まで]
平成24年9月26日	一般職員(施設・整計)	村 上 育 洋	休職延長 [25.03.25まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年9月1日	助教(保)	扇野綾子	職務復帰
平成24年9月1日	看護師(病院・看護)	村岡祐介	職務復帰
平成24年9月15日	助産師(病院・看護)	村岡ちひろ	育休開始 [27.03.31まで]
平成24年9月27日	教諭(教育・附中)	村井千絵美	育休開始 [26.03.31まで]
平成24年9月28日	教諭(教育・附特)	安田真由美	育休開始 [26.03.31まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年9月30日	一般職員(施設・整計)	松永健	辞職
平成24年9月30日	講師(国際交流センター)	YOSHIKAWA ELIZABETH	辞職
平成24年9月30日	助教(医)	谷口綾亮	辞職
平成24年9月30日	助教(病)	神寛之	辞職
平成24年9月30日	助手(病)	西村雅之	辞職
平成24年9月30日	看護師(病院・看護)	庄内智美	辞職
平成24年9月30日	看護師(病院・看護)	安岡純恵	辞職
平成24年9月30日	助教(病)	尾崎拓	任期満了

---

## ■ 主要日誌

- 9月1日 緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」(8/18、9/2)
- 3日 役員会
- 5日 第6回「学生相談を考える会」
- 11日 教育研究評議会
- 20日 学長定例記者会見
- 21日 「弘前大学高大連携公開講座」修了証書授与式  
科目ナンバリング説明会
- 24日 役員会
- 25日 教育委員会  
研究委員会
- 27日 「入試改善のための講演会」  
平成24年度 第2回 弘前大学科研費説明会
- 28日 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式  
学生アンバサダーによる報告会
- 29日 日本放射線看護学会設立，第1回学術集会
- 30日 第4回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」

---

## ■ 学内規則等の制定等

(平成24年9月26日改正)

### ○弘前大学学位規則

#### ○弘前大学大学院保健学研究科規程

大学院保健学研究科博士前期課程で付与する学位の名称に、これまでの修士（保健学）に修士（看護学）を加えるため、上記の規則等の一部を改正した。

(平成24年9月26日改正)

### ○弘前大学国際交流科目履修規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①日本語・日本事情の分野の授業科目について、留学以外の在留資格を持つ外国人の要望を受け、当該科目の受講を可能とするため、所要の改正を行う。
- ②授業科目と授業内容の整合を図る。

(平成24年9月26日改正)

### ○弘前大学保健管理センター規程

主任学校医を除く学校医等の任期に関する規定を整備するとともに、任命手続の簡素化を図るため、上記の規程の一部を改正した。

(平成24年9月26日制定)

### ○弘前大学ボランティアセンター規程

#### ○弘前大学ボランティアセンター運営会議要項

人文学部ボランティアセンターを改組し、学長直属の全学的組織としてボランティア活動の推進及びその支援を図るため、上記の規程等を制定した。

(平成24年9月26日改正)

### ○国立大学法人弘前大学における組織評価に関する規程

組織評価の対象組織に各研究所を追加するため、上記の規程の一部を改正した。

(平成24年9月26日制定)

### ○弘前大学組織評価実施要項（平成24年度実施分）

平成24年度に実施する組織評価について必要な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

弘前大学学報第102号

弘前大学総務部広報・国際課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172)36-2111